学校番号	３０２６

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)世界史演習 B	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史　（山川出版社）						
副教材等	最新世界史図説　タペストリー（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界各地の地誌上の違いや分布する民族の社会文化的特性に触れながら、歴史について関心を高められるよう、授業をおこなう。そのため、受講者は普段から世界各地の事象に関心を持つとともに、新聞に目を通したり、ニュース番組を聞いたりする習慣を持ってほしい。また、受験に耐えうるだけの知識を獲得できる授業展開を要求する声が生徒から上がっていることも踏まえ、事象の前後関係やその背景など、世界史知識の獲得を基本としつつ、歴史の面白さを感じてほしい。

2　学習の到達目標

古代から現代までの歴史的事象について、様々な視点から理解・考察する。
地理や古典など他の教科の知に結びつけることで、社会情勢の理解・考察を行う。
授業で扱うテーマの背景・事実を整理することで、論理的思考力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地域や時代を問わず、史実や史料に対する理解・解釈を客観的にできる。また、史料から情報を読み取るとともに、複数の情報を組み合わせて、自らが必要とする情報を導き出すことができる。	歴史事象や歴史学習の意義について、多角的かつ多面的に考察・理解できる。また、現代社会における諸課題の解決に向けて、かつ解釈のわかれる歴史事象について、知識を援用して、自説を論じることができる。	過去の事象を暗記対象としてのみ捉えたり、他国の事象を他人事として受け流したりするのではなく、間接的ではあっても現在の自分自身につながる事象として捉え、関心を持つと同時に、その事象に対して自身の意見を持つようにする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	演習①	諸地域の歴史的特質の形成 諸地域の交流・再編	a：古代・中世の諸地域の特質や相互影響について、現代社会の諸課題と連動させて、比較・理解している。 b：古代・中世の諸地域の社会変容を、多角的・多面的に考察・表現している。 c：古代・中世の諸地域の興亡に関して、自身の興味・関心をもとに、学習・議論することができる。	小テスト 定期考査	レポートやワークシートの作成	授業内容入力シート
2	演習②	諸地域の結合・変容 地球世界の課題	a：近世以降の諸地域の特質や相互影響について、現代社会の諸課題と連動させて、比較・理解している。 b：近世以降の諸地域の社会変容を、多角的・多面的に考察・表現している。 c：近世以降の諸地域の興亡に関して、自身の興味・関心をもとに、学習・議論することができる。	小テスト 定期考査	レポートやワークシートの作成	授業内容入力シート
3	演習③	学習項目の総まとめ	a：古代から現代における事象の特質や相互影響について、現代社会の諸課題と連動させて、比較・理解している。 b：古代から現代における事象の社会変容を、多角的・多面的に考察・表現している。 c：古代から現代における事象の興亡に関して、自身の興味関心を広げようとしている。	小テスト	レポートやワークシートの作成	授業内容入力シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度